

# 稲作気象台情報第2号

平成28年8月8日

東播磨農業改良普及事業協議会

ヒメトビウンカおよびセジロウンカの発生が多いほ場があります。兵庫県病害虫防除所から7月21日付けで発表された「平成28年度病害虫発生予報 第3号」によると、ヒメトビウンカの発生がやや多いと予想されています。播磨地域のヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は平均2.0%と低いものの、前年度に縞葉枯病が多発したほ場周辺では注意が必要です。

## 1. 梅雨入り以降の気象

今年の梅雨明けは7月18日ごろとみられ、平年より3日早くなりました。梅雨期間中の気温は、6月下旬を除き概ね高めで推移し、平年に比べ姫路で1.6倍、明石で1.8倍の降水量がありました。梅雨明け後、気温は概ね平年並みに推移しています。

## 2. 病害虫の調査結果（平成28年8月4日調査）

### <病害>

	葉いもち	紋枯病	縞葉枯病
発生状況等	少ない	少ない	確認せず

前回の調査に引き続き、今回の調査でも病害の発生は少ない状況でした。調査19地点中7地点（稲美町、加古川市、高砂市）で、葉いもちの発生が確認されました。紋枯病については、前回（7月14日）の調査で発生が確認された調査1地点で、病害の進展が見られました。縞葉枯病については、全調査地点で発生は確認されませんでした。

### <虫害>

	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ツマグロヨコバイ
発生状況等	一部で多い	一部で多い	発生確認せず	少ない

全ての調査地点で坪枯れの原因となるトビイロウンカは確認されませんでした。一部の調査地点（播磨町、加古川市）において、多くのヒメトビウンカおよびセジロウンカの発生が確認されました。斑点米の原因となるカメムシ類の発生は、近年の同時期同様少ない状況です。しかし、本田や畦畔で確認された調査地点（明石市、稲美町、高砂市）もありますので、周囲に休耕田など雑草の多いほ場は注意が必要です。

## 3. 今後の管理について

### (1) 水管理・施肥管理

〈キヌヒカリ〉出穂期を迎えています。出穂時は湛水状態にし、出穂後は間断灌水（田面に水がなくなれば水を入れる）を実施して、根を健全に保ちましょう。

〈ヒノヒカリ〉中干しが終わり水を入れる時期になります。中干し期に発生した新しい根をしっかりと活かせるように、いきなり長期間水を溜めるのではなく、一度走水程度の灌水を行い、その後、間断灌水（田面に水がなくなれば水を入れる）を実施するようにしまし

よう。また、葉色、生育に応じて、適期に穂肥を施用します。葉いもちの発生ほ場では、いもち病の発生状況によって穂肥量や時期を調節します。

## (2) 病虫害防除 (薬剤散布は使用基準を遵守してください)

### <いもち病>

現在、いもち病の発生は少ない状況ですが、今後の天候によって発生、進展することがあります。特に葉色の濃い箇所や日当りの悪い箇所などは、上位葉への進展により、穂いもちの発生が懸念されますので、葉いもちが発生していないか水田内に入ってよく観察し、多発している場合は治療効果の高い薬剤で出穂前防除を実施しましょう。また、8月末に出穂期を迎える晩生品種は、今後の天候の変化にも注意してください。

### <ウンカ・ヨコバイ類>

近年、県内ではヒメトビウンカがウイルスを媒介するイネ縞葉枯病の増加が問題となっています。特にイネ縞葉枯病の発生しているほ場では注意深く観察を継続し、ヒメトビウンカを低密度に抑えるよう必要に応じ出穂前防除等を実施しましょう。また、成熟期の遅いヒノヒカリでは、トビイロウンカの発生が稲の収量・品質を大きく左右しますので、出穂前防除は必ず実施しましょう。

### 出穂前防除薬剤(例)

\* JA 水稻栽培暦等を参照してください

・いもち病、トビイロウンカ、斑点米カメムシ類対応

→ ダブルカットバリダJ粉剤3DL(4kg/10a)(穂揃期まで、2回以内)

・いもち病対応 → コラトップ粒剤 5(3kg/10a)

・トビイロウンカ、斑点米カメムシ類対応

→ スタークル粒剤(3kg/10a)(収穫7日前まで、3回以内)

またはスタークル豆つぶ剤(250g/10a)(収穫7日前まで、3回以内)

### <斑点米カメムシ類>

斑点米の原因となるカメムシ類は、雑草の繁茂しているところに集まり繁殖します。出穂の2週間前までには畦畔の草刈りを終えることが対策として重要です。合わせて、カメムシの居場所をなくすため、同時に周辺の休耕田等の草刈りを実施しましょう。なお、出穂期の畦畔等の草刈りは、カメムシ類を水田に追い込み逆効果となる場合があるので注意が必要です。

※予定出穂時期は、キヌヒカリが8月上中旬頃、ヒノヒカリが8月下旬頃です。

こちらの气象台情報は、あかし農協のホームページでもご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www/ja-akashi.or.jp/>

次号の発行予定は、第3号 9/5頃となっております。